

平成 23 年 4 月の小学校学習指導要領の改訂に当たり、都立多摩図書館では、「小学校国語教科書に紹介された本 1・2 年生」(『ぷらたなす 60 号』)を作成しました。5 社の出版社の国語教科書で紹介された本が一覧できるこの冊子は、学校や図書館、読書活動などに関わる方などからご好評をいただき、選書の参考にしたり、学習会のテーマとして取り上げるなど様々に活用していただきました。

今回は、引き続き小学校 3 年生と 4 年生の国語教科書に紹介されている本をリストにしました。読書力も付き、興味も広がる年代の国語の教科書で、どのような本を紹介しているかを知り、それぞれの場で読書活動にお役立ていただければ幸いです。

## 目 次

1	はじめに	2
2	国語教科書に紹介された本	3
	種類別冊数／出版社別冊数	
3	3 年生の国語教科書紹介本のリスト	5
4	4 年生の国語教科書紹介本のリスト	16

## はじめに

小学校の国語の教科書は、学校図書、教育出版、三省堂、東京書籍、光村図書出版の5社から発行されています。3・4年生の教科書では、5社とも1・2年生のときと同じスタイルで本を紹介しています。

5社で紹介された本は、3年生では316冊にのぼります。そのうち重複している本をのぞくと全293点の本が紹介されています。4年生では347冊、321点が紹介されています。この冊数は、2年生の358冊、331点と比して、やや減少しています。重複している本は全体の7%と大変少なく、各社独自の選書をしています。

種類別では、絵本と物語の割合が、1年生では51%と14%、2年生では33%と17%、3年生では29%と25%、4年生では21%と27%となっています。学年が上がるにつれて絵本から物語へと移行し、4年生から物語が絵本より多くなっています。

ノンフィクションは、1年生18%、2年生23%、3年生26%、4年生37%と学年があがるに従って増えています。学習課題や子供の興味と関連があり、伝統的な暮らしや福祉関連の本、動物の本が多く紹介されています。他の学年に比して、3年生では食べ物関係の本が、4年生では落語関係の本が多く取り上げられているのは、食育や言語活動の一環と思われます。

1・2年生のリストでは「詩・言葉遊び」に分類しましたが、今回は「日本語」の分類を設けました。詩と言葉遊びに加えて、4年生からは辞典や短歌、俳句が加わり充実している分野です。